

ニ順應シテ協働ノ實ヲ舉ガルニ努メテ到底迄キ將來ニ其ノ  
目的ヲ達スルノ不可取レルヲ認メテ其ノ會社ハ隱忍自重該意ヲ  
竭シテ彼等ヲ遇ス六職ヲ常働組合員ノ自重ト自覺トニ因リ  
必キ其ノ成果ヲ獲ベシト信シ諸般ノ施設ニ規則ノ改正ニ健  
康保険料ノ負擔額等ニ於テ相當ノ用意ト工夫トヲ凝シ福  
利ノ増進ヲ圖ルニ専念シタレドモ如何ニモシテ勞働組合ハ彼等  
ヲ使喚シテ事毎ニ反對ノ態度ヲ執ラシメ主義トシテ勞資ハ  
絶對ニ悞調スルモノニアラストナシ主義ノ宣傳ニ又ハ亦組織職場  
ヲ加入セシメテクロトストシヨットストスルノ計畫ノ實行ニ寧日モナ  
キ所願デアリマシテ

事態此如キガ故ニ工場ハ常ニ動搖シ其ノ波及スル所少カラズ  
今ニテ断乎タル如显ニ出テズンバ將來收拾ス可カラザラ思ヒ  
到底宥恕ス可カラサルニ九名ヲ遺憾ナカラ解雇致シマシメ

實ニ今回ノ件ハ單ナル産業界ニ於ケル一經濟闘争ニアラスシ  
テ彼等ノ所謂經濟闘争ノ政治闘争ヘノ進出ニシテ看過  
ス可カラザル現象デアリマスマイカ當社ハ此ノ如キ一ノ政治  
的指令ニヨリテ闘争ヲ捲キ起スカ如キ組合員ヲ従業員ト  
シテ直クストハ事業ノ性質上ヨリノミナラス産業人トシテ  
モ亦社会人トシテモ到底許サザルモノト思ヒマス

斯ルガ故ニ會社ノ措置ハ社規ヲ振南シテ經營ノ基礎  
ヲ鞏固ニシ且ツハ健全ナル思想ノ従業員ヲシテ意ヲ母  
ンビテ生業ニ就カシメントスル當為ノモノタルヲ御諒  
兼アラントラヌ布フ次第ニテス

昭和三年 三月十九日

各位  
日本、化學工業株式會社